

ソーラーエッジHD-WaveパワーコンディショナのRS485通信線の交換

本書では、自立運転端子ユニット内部にあるRS485通信線を交換する方法について説明します。

キットの内容

- RS485通信線交換キット

必要なツール

- 4 mm 六角レンチ
- プラスタライバー

パワーコンディショナと接続ユニットのカバーの取り外し

1. パワーコンディショナのON/OFF/PスイッチをOFF (0) にし、パワーコンディショナの直流電圧が安全電圧に低下するまで、5分間待ってから次のステップに進んでください。
2. 分電盤の配線遮断器をOFFにして、パワーコンディショナの電源を切ってください。分電盤を施錠してください。
3. 4 mmの六角レンチを使用して、自立運転端子ユニットのフロントカバーを固定している4本のネジを外し、カバーを取り外してください。カバーとネジは、再組み立てのために保管しておいてください。



図1 : カバーとネジ

4. 4 mmの六角レンチを使用して、パワーコンディショナのフロントカバーを固定している6本のネジを外し、カバーを取り外してください。カバーとネジは、再組み立てのために保管しておいてください。

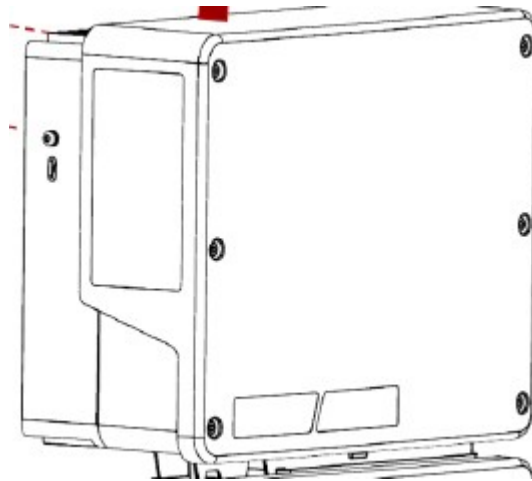


図2：カバーと6本のネジ



ヒント

カバーを外した状態の接続ユニットとパワーコンディショナを写真に撮り、ケーブル再接続の際の参考にしてください。

RS485ケーブルの取り外し

1. 接続ユニットまたはパワーコンディショナ内からRS485通信線を取り外す前に、RS485通信線に適切に印が付いていることを確認してください。そうでない場合は、各通信線の位置に印を付けてください。
2. ユニット内部の自立運転用基板にあるRS485ソケットからコネクタを取り外してください。コネクタをソケットから取り外す前に、ロックを必ず解除してください。コネクタをソケットから取り外す際に、絶対に配線を引っ張らないようにしてください。

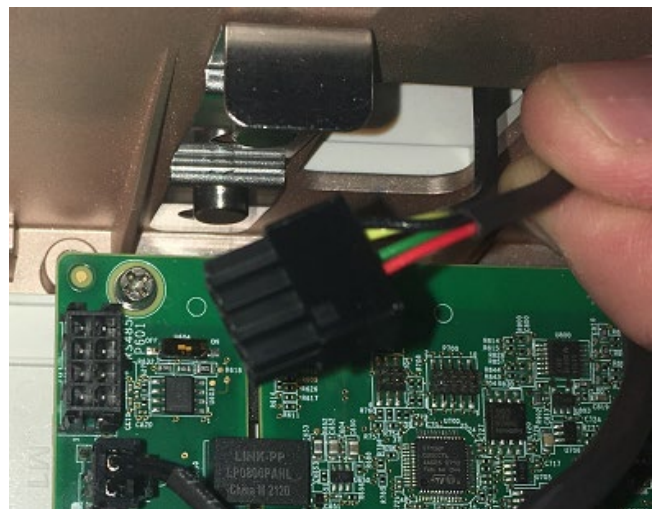
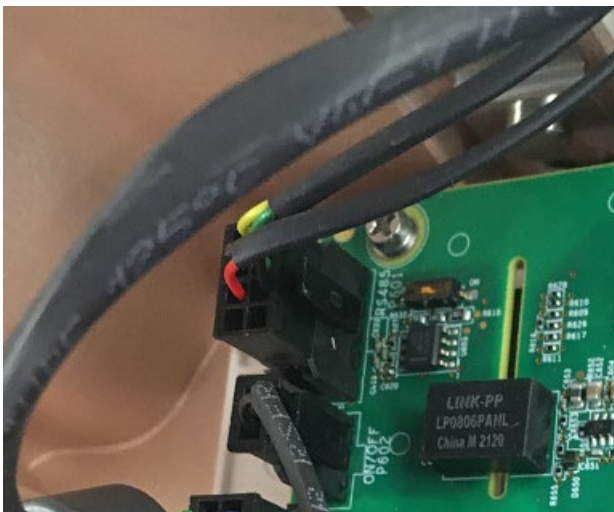


図3：基板からのRS485通信線の取り外し

3. パワーコンディショナ内部にあるRS485通信線のもう一方の端部を確認し、コネクタをRS485ソケットから取り外してください。コネクタをソケットから取り外す際に、絶対に配線を引っ張らないようにしてください。

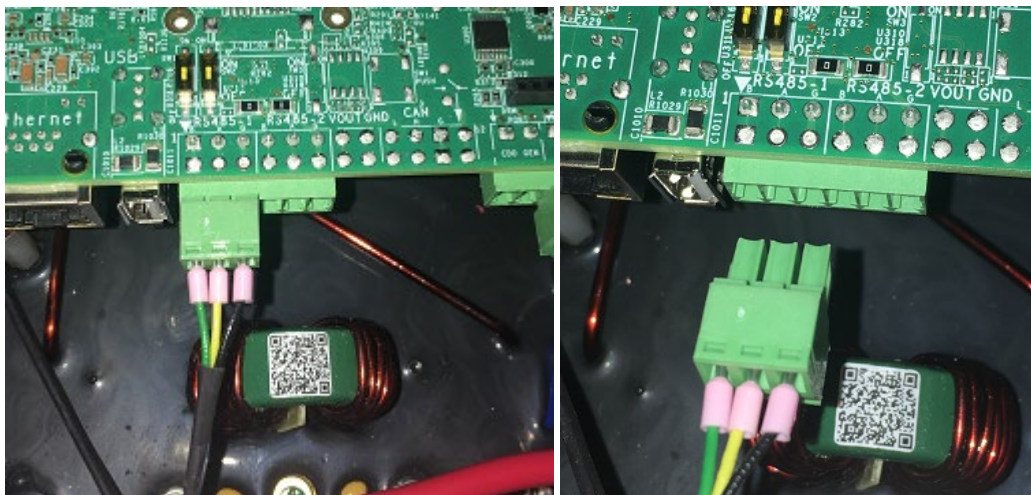


図4：パワーコンディショナのRS485通信線の取り外し

4. 古いRS485通信線を廃棄してください。

交換用RS485通信線の取り付け

1. 新しいRS485通信線をパッケージから取り出してください。
2. 新しいRS485通信線のコネクタを、自立運転用基板上にあるRS485ソケットに接続してください。コネクタがソケットに完全に差し込まれていることを確認してください。

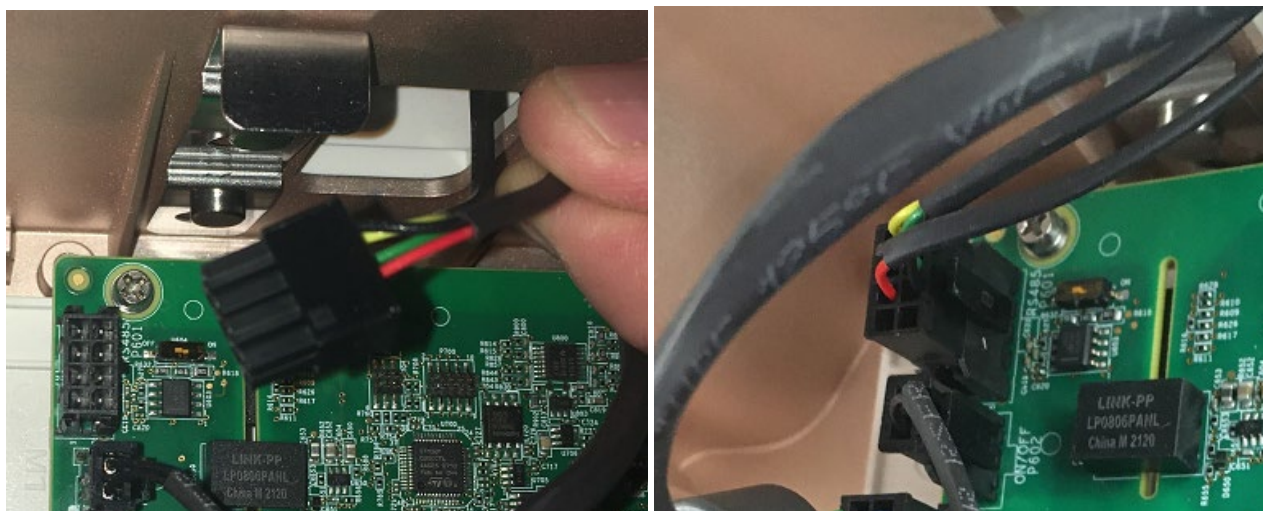


図5：RS485を基板に接続

3. 新しいRS485通信線コネクタのもう一方の端部を、パワーコンディショナのRS485ソケットの左側に挿入してください。コネクタがソケットに完全に差し込まれていることを確認してください。

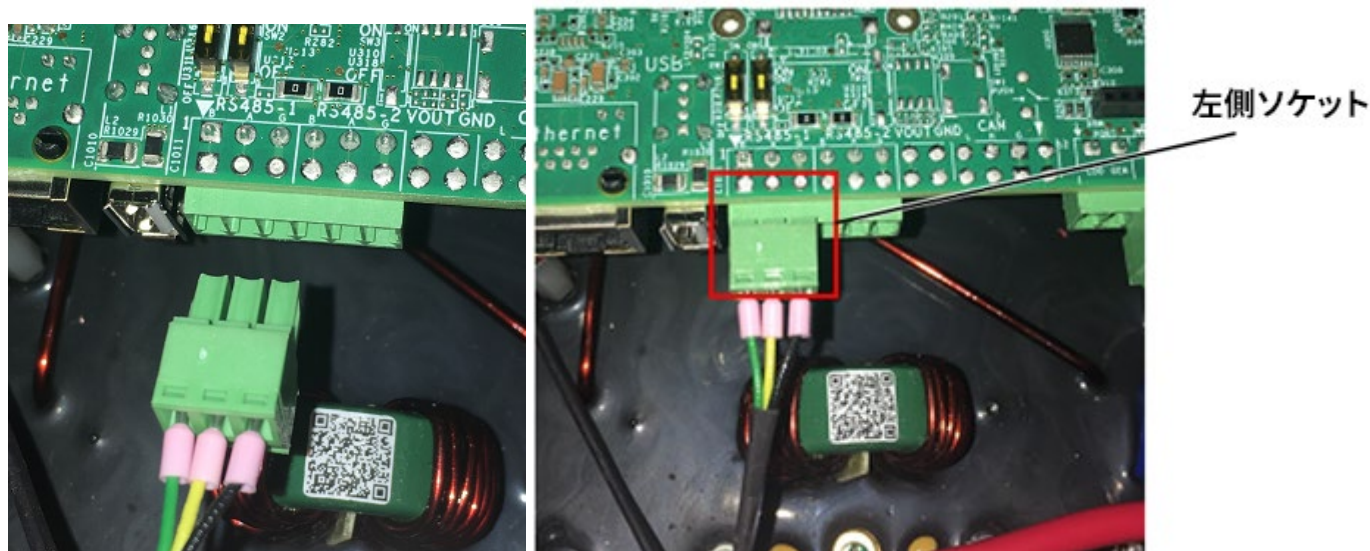


図6：パワーコンディショナのRS485通信線の接続

接続ユニットのカバーの取り付け

1. 接続ユニットのフロントカバーを元に戻してください。
2. 4 mm六角レンチを使用して、3.5 N*m のトルクでネジを締めてください。
3. 以下の順序でネジを締めてください。
 - a. 上部の左
 - b. 下部の右
 - c. 上部の右
 - d. 下部の左



パワーコンディショナのカバーの取り付け

1. パワーコンディショナのカバーを元に戻してください。
2. 4 mm六角レンチとトルクレンチを使用して、6本のネジを3.5 N*mのトルクで締めてください
3. 以下の順番でネジを締めてください。
 - a. 上部の中央
 - b. 下部の中央
 - c. 上部の左
 - d. 下部の右
 - e. 上部の右
 - f. 下部の左
4. 分電盤を解錠し、配線用遮断器をONにしてください。
5. パワーコンディショナのON/OFF/P切り替えスイッチをON (1) にしてください。